

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		松が谷保育園大規模改修				所管	教育委員会 庶務課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	249	計画事業名	区有施設の老朽化対策		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] IV-2. 行政経営の推進					[事業開始] 平成29年度			
		[小 柱]					[終了予定] 平成30年度			
		[施 策]								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし					
	事業対象	直接の対象 : 松が谷保育園 最終的な対象 : 松が谷保育園園児								
	事業目的	老朽化が進む建物の改修及び設備の更新を行うことで、園児の安全確保と保育の質の向上を図る。								
事業内容 [29年度]	平成30年度の大規模改修工事に向け、実施設計業務を委託して効率的な計画を策定する。また、工事期間の仮園舎(旧竜泉中学校)における必要な一部改修を行うとともに、園児の安全確保を図るための仮設計画についても検討する。									
委託の有無	全部委託		委託内容	実施設計業務						
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	改修工事面積(児童館・クラブを含む)		m ²	-	-	-	実施設計	-	-
	成果指標	工事進捗率		%	-	-	-	0	-	-
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				-		-		3,413
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				-		-		1,661
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				-		-		3,413
		総経費				-		-		0
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				-		-		5,074
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				-		-		0
一般財源(区負担額)				-		-		1,713		
前回評価から29年度に改善した事項	平成29年度新規事業である。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	1	区として施設を保全すべく本事業で保育環境の整備を進めてきたが、平成30年度で事業終了となる。							
	効率性	3	工事期間は仮園舎で保育を行うことにより、工期短縮が図られ全体のコスト削減につながる。							
	手段の適切性	4	保育園・児童館・こどもクラブ併設館として、三事業併せて工事を進めることで、建物の内外装すべての工事を一括して行うことができ、コスト面や効率性において適切な手段と言える。							
目的達成度	4	計画どおり実施設計を行うことができた。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
老朽化対策を図るべく、本事業を進めてきたが、計画どおり平成30年度で工事は終了予定である。						廃止・終了		拡大改善維持縮小 廃止・終了		